

施策 231 少子化対策を進めるための環境づくり

【主担当部局：健康福祉部子ども・家庭局】

県民の皆さんとめざす姿

「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、さまざまな主体との連携による少子化対策の取組が進み、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、全ての子どもが豊かに育つことのできる環境づくりが進んでいます。

平成 31 年度末での到達目標

県をはじめとするさまざまな主体が「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき取組を進めることにより、子どもの育ちを見守り、子育て家庭を応援する地域社会づくりが進んでいると実感しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	53.4%	59.0%		60.0%		62.0%
目標項目の説明	みえ県民意識調査で地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
29 年度目標値の考え方	現状値と平成 31 年度目標値との差 8.6%を段階的に解消し、目標達成できるよう、平成 29 年度目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
23101 少子化対策を進めるための機運醸成（健康福祉部子ども・家庭局）	みえ子どもスマイルネットの月間平均アクセス数		28,000 件		29,000 件		31,000 件
		27,776 件					
23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり（健康福祉部子ども・家庭局）	子育て家庭応援クーポン協賛店舗数		1,020 店舗		1,680 店舗		3,000 店舗
		419 店舗					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり（健康福祉部 子ども・家庭局）	青少年が使用する携帯電話等のフィルタリングサービス利用率		62.5%		65.0%		72.4%
		59.1%					
23103 ライフプラン教育の推進（健康福祉部 子ども・家庭局）	ライフプラン教育を実施している市町の数		20 市町		23 市町		29 市町
		19 市町					
	県立高等学校においてライフプラン教育に関する取組を実施した割合		60.0%		75.0%		100%
		58.6%					
23104 男性の育児参画の推進（健康福祉部 子ども・家庭局）	「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業、団体数（累計）		120 企業・団体		180 企業・団体		300 企業・団体
		79 企業・団体					

現状と課題

①県民の結婚や出産等について理想と現実にギャップが生じており、結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりに向けて、さまざまな主体の参画を得ながら「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」に基づき、「少子化対策推進県民会議」や「みえ・たい³（たいキューブ）・スイッチ」関連イベント、「みえ子どもスマイルネット」による情報発信等に取り組んでいます。今後も少子化対策を進めるための機運醸成を図るため、さまざまな主体と連携した県民運動を展開する必要があります。

また、県民に身近な市町での少子化対策の取組を支援する必要があります。

②核家族化が進み、地域の絆が薄れる中、子育て家庭の負担が増大していることから、子育て家庭の支援に関心や意欲のある方、祖父母等を対象にした人材育成を行っています。今後も社会全体で子育て家庭の負担や不安を軽減していく必要があることから、地域においてさまざまな主体が子育て家庭を支えることができるよう、市町と連携し、ニーズに応じた人材の育成やスキルアップの取組が求められています。

また、三重県子ども条例の基本理念をふまえ、「みえ次世代育成応援ネットワーク」など、企業と連携した取組や子どもの「声」を聴く事業に取り組んでいます。今後も地域や企業、団体等、さまざまな主体と連携し、子どもの育ちを見守り、子育て家庭を支え、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりを進めていく必要があります。

さらに、有害情報の氾濫やインターネット上でのトラブルの増加をふまえ、三重県青少年健全育成条例に基づき、立入調査や青少年の使用する携帯電話のフィルタリングサービス利用率の向上に取り組んでいます。今後も関係機関と連携し、子どもの健全な成長を阻害するおそれのある有害環境から社会全体で子どもを保護し、健全な育成を図る必要があります。

加えて、平成 28 年 4 月に設置した「三重県子ども・若者支援地域協議会」において、社会生活を営む上で、困難を有する子ども・若者やその家族に対する支援の充実に向けて、関係機関と連携して検討を進めるとともに、各市町においても協議会の設置を検討していくことが必要です。

- ③小中学生を対象とした赤ちゃんふれあい体験事業を実施する 2 市町、市町内の全中学校において命の教育セミナーを実施する 5 市町に補助を行っています。子どもたちが、妊娠・出産や性に関して医学的に正しい知識を習得できるよう、これらライフプラン教育の取組を推進する必要があります。
- ④大学生や若い世代では、妊娠・出産や性に関する正しい知識等を習得する機会が少ないことから、大学や企業、医療関係機関等と連携し、家族の大切さや、妊娠・出産、性に関する知識を習得する機会を設けています。今後も企業等と連携して、大学生や若い世代が自らのライフプランを考える基盤ができるよう、普及啓発を進める必要があります。
- ⑤子どもたちが妊娠・出産や性に関する医学的に正しい知識を習得し、自らのライフプランを考えるために、関係団体等の協力を得て、各学校が開催する講座や講演会等の取組を支援し、情報共有する必要があります。
- ⑥県民アンケートによると、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」と考える人の割合は、20 歳代、30 歳代では過半数を超えるようになったものの、依然として子育て期の男性の多くが長時間労働をし、家事・育児への参加時間が短いという調査結果があることから、男性の育児参画を推進するため、「みえの育児男子プロジェクト」に取り組んでいます。引き続き、職場や地域社会の中で、男性の育児参画が大切であるという考え方を普及啓発していく必要があります。また、今後、男性の育児参画の普及啓発には、企業の関わりが一層重要となってくることから、企業等におけるイクボスの推進や、男性の育児休暇取得を促進することが必要となっています。

平成 29 年度の取組方向

健康福祉部

- ①「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」について、PDCA サイクルを回しながら目標達成に向けて進行管理を行うとともに、「少子化対策推進県民会議」や「みえ・たい³（たいキューブ）・スイッチ」関連イベントを開催し、さまざまな主体と連携しながら少子化対策を進めるための機運の醸成に取り組めます。
また、「みえ子どもスマイルネット」の内容を充実させることで、少子化対策を進めるための情報共有や機運の醸成を図ります。
さらに、国の地域少子化対策重点推進交付金等を最大限に活用し、市町の少子化対策の取組が推進されるよう財政的に支援します。
- ②地域における子育て家庭を応援する取組を促進するため、引き続き市町と連携して、子育て家庭の支援に関心や意欲のある方、祖父母等を対象にした人材育成を行うとともに、フォローアップ研修を行います。
また、三重県子ども条例の基本理念をふまえ、企業、団体等のさまざまな主体と連携して子どもの育ちを見守る取組を進めるため、引き続き「みえ次世代育成応援ネットワーク」の活動を促進するとともに、地域全体で子育て家庭を応援する機運をより高めるため、「子育て家庭応援クーポン」協賛店舗の拡大に取り組めます。

さらに、同条例に基づき、子どもからの相談へ対応するため「こどもほっとダイヤル」を引き続き運営し、関係機関と連携してその対応等に取り組むとともに、子どもの意見を聞き、県の施策等へ反映することを目的とした「キッズモニター」によるアンケート調査も引き続き実施します。

三重県青少年健全育成条例に基づく取組に加え、引き続き関係機関と連携し、子どもを持つ親等に対して、ネット被害防止の重要性やフィルタリングサービスの必要性、家庭における携帯電話利用のルールづくり等の啓発を進めることにより、青少年の使用する携帯電話のフィルタリングサービス利用率の向上をめざします。

社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者やその家族に対する支援の充実に向けて、市町での協議会設置を促進するため、市町向けの研修会の実施等に取り組めます。

- ③子どもたちが、妊娠・出産や性に関して医学的に正しい知識を習得できるよう、ライフプラン教育に取り組む市町の拡大に向け、働きかけを行います。
- ④大学生や企業の従業員に対し、家族の大切さ、妊娠・出産や性に関する知識を習得し、自らのライフプランを考えるきっかけづくりとなる研修会等を関係機関と連携して開催します。
- ⑤「みえの育児男子プロジェクト」の取組として、引き続き、男性の育児参画の関心を高める普及啓発を行うとともに、企業等におけるイクボス推進のサポートに加え、新たに男性の育児休暇取得を促進する取組を進めます。

教育委員会

- ⑥県立高等学校が開催する、ライフプラン教育に関する講演会、保育実習や妊娠・出産等の医学的知識を身につけるための講演会等について、関係団体等の協力を得て、各校の実態に応じた成果が得られるよう引き続き支援します。また、幼稚園および公立小中学校で、家庭生活の大切さや家族の役割を考える授業の充実が図られるよう引き続き支援します。

主な事業

健康福祉部

- ①少子化対策県民運動等推進事業【基本事業名：23101 少子化対策を進めるための機運醸成】
予算額：(28) 4,169千円 → (29) 12,023千円
事業概要：結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、さまざまな主体の参画を得ながら、少子化対策推進県民会議を開催するほか、「みえ・たい³（たいキューブ）・スイッチ」関連イベントや子育て応援情報の発信などを行います。
- ②子どもの育ちの推進事業【基本事業名：23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり】
予算額：(28) 20,158千円 → (29) 17,810千円
事業概要：子どもの育ちや子育て家庭を応援する「みえ次世代育成応援ネットワーク」などと連携し、各種イベントの実施や、「みえの子ども応援プロジェクト」によるNPO・団体の取組支援などを進めます。また、企業等と連携して子育て家庭を応援するため、「子育て家庭応援クーポン協賛店舗」への登録を働きかけます。
- ③子育て家庭応援事業【基本事業名：23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり】
予算額：(28) 1,975千円 → (29) 1,402千円
事業概要：市町と連携し「子育て・子育てマイスター養成講座」や「孫育て講座」を開催するなど、子育て家庭を応援する取組を促進します。

④子ども・若者対策事業【基本事業名：23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり】

予算額：(28) 32,312千円 → (29) 31,635千円

事業概要：三重県青少年健全育成条例に基づき立入調査等を行うとともに、子どものネット被害防止に向けて、青少年の携帯電話等のフィルタリング利用の啓発等に努めます。また、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の支援を進めます。

⑤ライフプランアドバイザー派遣事業【基本事業名：23103 ライフプラン教育の推進】

予算額：(28) 2,351千円 → (29) 1,500千円

事業概要：大学生や若手従業員等が、妊娠・出産や性に関する医学的に正しい知識を習得し、自らのライフプランやキャリアプランを考える機会の提供に取り組みます。

⑥思春期ライフプラン教育事業【基本事業名：23103 ライフプラン教育の推進】

予算額：(28) 3,130千円 → (29) 537千円

事業概要：子どもたちが、家庭生活や家族の大切さ、妊娠・出産や性に関する医学的に正しい知識を習得し、自らのライフプランを考える基盤ができるよう、小中学生を対象とする「赤ちゃんふれあい体験事業」や市町内の全ての中学において「命の教育セミナー」を実施する市町への補助等を行います。

⑦（一部新）男性の育児参画普及啓発事業【基本事業名：23104 男性の育児参画の推進】

予算額：(28) 4,784千円 → (29) 3,421千円

事業概要：「みえの育児男子プロジェクト」として、男性の育児参画の普及啓発やイクボスを推進する企業の取組の支援に加え、企業と連携して男性の育児休暇の取得が促進されるよう情報発信を行うとともに、自然体験を通じて子育てに男性が関わる取組を進めます。

教育委員会

⑧ライフプラン教育の推進にかかる事業

【基本事業名：22201 道徳教育の推進】【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】

予算額：(28) 980千円 → (29) 769千円

事業概要：高校生が将来を見据えてライフプランを含めたキャリアプランニングができるよう、講演会の開催等を推進します。また、公立幼稚園、小中学校等の教員等を対象に講演会を開催し、各学校への取組の普及・啓発を図ります。